

メフィーゴパック(経口人工妊娠中絶薬)について

経口中絶薬（メフィーゴパック）が2023年4月に初めて国内で承認され、5月に国内で販売開始されました。当院は2023年7月から導入しております。この薬の流通は厳重にコントロールされており、認可施設でかつ薬剤投与の講習を受けた母体保護法指定医しか処方することはできません。当院では処方可能な医師が4名在籍しています。

母体保護法に基づいて、妊娠継続をすることが困難な妊娠63日（9週0日）以下の方（ミフェプリストン投与時）が適応となります。中絶が可能なのは、妊娠の継続または分娩が身体的または経済的理由により母体の健康を著しく害するおそれのあるときなど母体保護法に定められた適応条件を満たしたときのみです。

経口中絶薬（メフィーゴパック）について

メフィーゴパックは以下の2つの薬剤から成ります。

- ミフェプリストン：妊娠を維持するのに必要な黄体ホルモン（プロゲステロン）の働きをブロックする薬
- ミソプロストール：強力な子宮収縮をおこす薬

ミフェプリストン錠 200 mg経口投与の36～48時間後にミソプロストールバツカル錠 800µg 口腔内投与します。

※中絶薬を内服しても、成功率は100%ではなく、胎嚢が排出されない場合や出血が多い場合など状況によっては手術が必要になることがあります。

この薬で認められる症状： 全例で子宮出血と下腹部痛があらわれます。

まれに失神するほどの重度の子宮出血（0.8%）があります。

頻度は多くありませんが海外で以下の副作用の報告があります。

感染症、ミフェプリストンと因果関係の否定できない重度の皮膚障害、ミソプロストールと因果関係の否定できない脳梗塞・心筋梗塞・狭心症、妊娠継続した場合の胎児の先天異常

中絶の成功率について

1 剤目投与後 1.7%、2 剤目投与後、0～4 時間 61.7%、4～8 時間 26.7%、8～12 時間 1.7%、20～24 時間 1.7% 9 割近くの方は 8 時間以内に中絶が完了します。24 時間以内に 93.3%の中絶が完了します。（国内第Ⅲ相試験：ラインファーマ社資料より抜粋）

経口中絶薬による人工妊娠中絶 料金：99,000 円（税込）

薬剤費、内服後の診察、通常の中絶手術が必要となった際の手術の費用を含みます。

当初は院内待機が必須でしたが、大阪市内在住の方は処方後に帰宅してもよいことになりました。

2025 年 3 月 1 日以降は自宅で待機していただきます。自宅待機が可能となったため、価格を改定しております。

※初診時は診察や検査の費用が別途かかります。

※中絶が完了するまでにかかる費用とご理解下さい。そのため 1 錠目の内服で中絶が完了しても返金や減額はありせん。

※手術が必要となった際は侵襲の少ない MVA 法（使い捨て手動真空吸引法）で実施します。静脈麻酔下にエコーで確認しながら手術をします。

※内服や手術の合併症や副作用への対応、輸血や入院・転院・搬送が必要となった場合の費用は含みません。

※検査値の異常を認めた場合は当日でも処方をお断りすることがございます。

※血液型が Rh 陰性の場合は次回妊娠に備えてグロブリン投与（実費）が必要となります。

同意書について

人工妊娠中絶には同意書が絶対に必要です。ご用意のない場合は当日でもキャンセルとなります。婚姻関係にある方はご主人の署名が必要となります。

未婚の方はご本人の署名のみで実施可能ですが、配偶者の欄に『私は誰とも婚姻関係にありません。』と記入し、署名して下さい。事実のみを記入して下さい。

来院回数

術後診察含め、最低 4 回の来院が必要です。胎嚢を確認してから中絶薬の投与日を決めます。

1 回目：問診、エコー、採血（産科初診： 5,000 円）

2 回目：午前診または午後診に来院いただき、同意書を確認後、ミフェプリストンを内服します。（外来で医師の目の前で内服いただきます。持って帰ることはできません。）内服後はすぐに帰宅できます。

3 回目：2 回目の 2 日後に朝に来院いただき、ミソプロストールバツカル錠投与します。大阪市内在住の方は帰宅可能です。大阪市外の方は院内待機が必須となります。

4 回目：当日夕方あるいは 1 週間以内に来院いただき、中絶が完了しているか確認します。

※3 回目： 院内待機（大阪市外在住の方）の詳細について

頻繁にトイレを利用されることになりまして、トイレでの出血も多くなりますので、トイレ付きの個室をご用意いたします。お食事のご用意はありませんので、軽食をご準備ください。手術になる可能性もあるので、アクセサリー類やネイル、コンタクトレンズはあらかじめお下しください。

個室のご利用は当院の個室入院と同様で日額 18,000 円です。宿泊施設とは異なり、1 泊の料金ではありません。0 時を過ぎますと、2 日分の個室料金がかかります。診察時間終了後に胎嚢を排出しても、診察は翌朝となり夜間に退院することはできませんので、36,000 円かかることとなります。こちらの方は予めご了承ください。

必要物品： 保険証、診察券、生理用ショーツ、夜用ナプキン×2～3 個、ヘアゴム（髪の長い方）、軽食やドリンク類、小銭（3 階に自販機があります。）

院内待機を希望される場合は上記の他に歯ブラシセット、フェイスタオル、バスタオルなどが必要です。シャワー室にシャンプー・トリートメント・ボディソープは準備しています。貴重品、多額の金銭は持参しないでください。万が一、盗難などの被害にあわれても当院では責任を負いかねますのでご了承ください。

以下に該当する方は処方できません。

本剤に対してアレルギーがある方、ポルフィリン症の方、ステロイド使用中で原疾患のためステロイドの効果の減弱が許容できない方、出血性疾患のある方、抗凝固剤・抗血小板薬を内服中の方、CYP3A 誘導剤を内服中の方、重度の肝機能障害のある方、重度の貧血のある方（血中ヘモグロビン値 7g/dL 以下）、子宮内避妊具を使用中の方、CYP3A 誘導剤を内服中の方（リファンピシン、リファブチン、カルバマゼピン、フェニトイン、セイヨウオトギリソウ、フェノバルビタール、ボセンタン、エファビレンツ、ダブラフェニブ、エトラピリン、ロルラチニブ、プリミドン、ソトラシブ）

手術になる可能性もあるため、当院のような診療所で手術をする上でリスクがある方についても中絶薬の処方できません。喘息発作の強い方、BMI30 以上の方や精神疾患のある方には処方できません。妊娠週数が薬剤投与の期限が差し迫っていても、検査で異常を認めた場合、37.5 度以上の発熱や感染症状を認めた場合は、当日キャンセルとなります。

予約について

初診は予約なしで診察時間内にお越し下さい。パートナーの付き添いはできません。18 歳未満の方は保護者のみ外来の付き添いは可能です。

最近、パートナーから本当に中絶をしたのかなどのお問い合わせがありますが、当院は一切お答えすることはできません。必要な場合はご本人に診断書を発行しますので、ご本人様から受付か医師にお申し出下さい。

中絶薬の処方は以下の日程で実施しております。

- ① 月曜日外来ミフェプリストン投与、水曜日朝ミソプロストール投与
- ② 水曜日外来ミフェプリストン投与、金曜日朝ミソプロストール投与
- ③ 土曜日外来ミフェプリストン投与、月曜日朝ミソプロストール投与

祝日等で休診の場合は対応できません。採血結果の確認が必要ですので、診察の数日後に中絶薬の投与となります。そのため期日直前に受診しても中絶薬での対応はほぼできませんので、ご注意ください。

月水金は夜診を実施しております。当日胎嚢が排出した場合は 19 時までにご来院下さい。19 時以降になる場合は翌日以降に受診して下さい。